

令和4年度 青森大学学術講演会

マイノリティ 社会的少数者に対する意識のバリアを超えて

1. 実施概要

主 催：青森大学学術研究会

期 日：令和4年10月1日(土) 12:30～13:30

会 場：青森大学記念ホール（青森市幸畑2丁目3-1：Tel; 017-738-2001(代)

定 員：200名（無料）

受 付：12:00～

2. プログラム

開 会：12:30（司 会：青森大学学術研究会・青森大学社会学部教授 安藤 清美）

主催者挨拶：12:30～12:35

青森大学学術研究会会長・青森大学学長 金井 一頼

講 演：12:35～13:25

講 師：NPO法人STAND代表理事 伊藤 数子 氏

思 い：「- すべての人が好きなスポーツに関わる社会へ -

2003年に初めて重度障害の人のスポーツ電動車いすサッカーのウェブ生中継をしたとき、「障害者をさらし者にしてどうするつもりだ」という痛烈な批判を受けた。私はこの言葉が発せられる社会のあり様に大きな違和感を覚え、パラスポーツからのアプローチで共生社会を目指す事業を始めた。スポーツに限らず、すべての人が躊躇なく何にでも挑戦できる明るく豊かな社会は、すなわち福祉の充実した社会につながると信じている。」

閉会挨拶：13:25

青森大学学術研究会会長・青森大学学長 金井 一頼

閉 会：13:30

以 上

《講師紹介》伊藤 数子 氏

NPO 法人 STAND 代表理事
株式会社パステルラボ 代表取締役社長
広島大学 客員教授



1991年企画会社パステルラボ設立、代表取締役。2003年から電動車椅子サッカーなどのパラスポーツ大会のインターネットライブ中継を開始。誰もが明るく豊かに暮らす社会を実現する「ユニバーサルコミュニケーション活動」のため2005年NPO法人STANDを設立し、パラスポーツ事業を本格始動。パラスポーツを通して共生社会を目指す。ウェブサイト「挑戦者たち」での情報発信、スポーツイベントや体験会も開催。2014年にはボランティアアカデミーを開講。2016年には新設されたスポーツ庁の第1期スポーツ審議会委員を務めた。東京オリンピック・パラリンピック組織委員会顧問、総務省情報通信審議会専門委員、日本パラリンピアンズ協会アドバイザーなども務める。2020年には日本ITU協会賞 特別賞を受賞。

- <著書> 「パラスポーツ・ボランティア入門 共生社会を実現するために」
共著/旬報社 2019年
「ようこそ、障害者スポーツへ パラリンピックを目指すアスリートたち」
/廣済堂出版 2012年
「大学は地域を活性化できるか」共著/中央経済社 2005年

●ユニバーサルコミュニケーション活動

年齢・性別・障害・職業・国や地域の区別なく、すべての人が持てる力を発揮し、誇りある自立を得、ともに明るく豊かに暮らす社会を実現するための活動。企業の枠や仕事の領域を超え、それぞれの立場で経営資源や得意分野を活かしながら、高齢者や障害者や子どもたちのより豊かな生活のための活動を推進。

- 1991 パステルラボ設立
2005 金沢市 IT ビジネス大賞受賞
NPO 法人 STAND 設立
2006 総務省 u-Japan ベストプラクティス 2006
日経地域情報化大賞 CAN フォーラム賞
2008 MCPC アワード 特別賞
総務省 u-Japan ベストプラクティス 2008
石川県バリアフリー社会推進賞 最優秀賞
2009 MCF モバイルプロジェクトアワード 奨励賞
2013 総務省北陸総合通信局長表彰
2020 日本ITU協会賞 特別賞

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 顧問
総務省 情報通信審議会専門委員
総務省 地域情報化アドバイザー
内閣府 地域活性化伝道師
国土交通省 北陸の明日を考える懇談会 委員
広島県 スポーツ政策アドバイザー
広島県障害者スポーツ協会アドバイザー
一般社団法人日本スイーツ協会 理事
一般社団法人日本パラリンピアンズ協会アドバイザー

2022年1月現在